

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスギフト岡崎駅前			
○保護者評価実施期間	2025 年 6 月 14 日		～	2025 年 6 月 27 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20 名
○従業者評価実施期間	2025 年 6 月 14 日		～	2025 年 6 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 6 月 27 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との面談とアセスメントの再実施による支援体制の再構築	丁寧な保護者面談と、児童の変化に応じたアセスメントの取り直しにより、支援の基盤を再確認	今後の個別支援計画にこの情報を的確に反映し、継続的な面談を通じて保護者との信頼関係をさらに強化
2	多彩で選択肢に富んだ集団活動の実践	1ヶ月の中で4つの主軸活動を1週間通して実施。①SSTやイベントに向けたチーム活動、②選択制クラブ活動 ③ヨガやサーキット体幹トレーニング等、④リクエスト活動 誕生日会科学実験など子どもたちが主体性を持って取り組めるプログラムを実施。経験を通して学び合える場の提供	活動の計画段階から子どもの声をより多く取り入れ、「自分たちで創る療育」の形に進化させる
3	子どもが安心して通える雰囲気と支援者の共感的姿勢	子ども達の小さな変化やつぶやき、行動などをしっかり観察。 その変化を見逃さないようにしっかりサポートし毎日のミーティングで共有する。また今抱えてる本人の問題や課題があれば全員で共通認識をもって支援にあたるようにする	日々の活動でスモールステップでの課題に取り組み子どもたちが成功体験をつめるように目標を設定するその目標に向かいスタッフ全体で意識と支援方針統一化し、子どもの自己肯定感をさらに高める

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他機関連携の機会が少ない	今まではそのような機会や習慣がなかったため	定期的に地域の清掃を実施。近隣施設との連携機会を増やし、地域に開かれた事業所としての取り組みを強化する
2	家族支援の機会や体制がまだ整っていない	ペアレントプログラム等に対する周知や開催頻度が不足している	年数回の家族向け交流イベントや個別相談会の定期開催を計画し、参加しやすい工夫を凝らす
3	保護者参観や保護者同士の交流機会が不足している	保護者が施設の様子を直接見る機会や、家庭同士のつながりを築く機会がほとんどない状態が続いている	次年度より「保護者参観日」や「保護者交流会」等を年間計画に盛り込み、継続的な関係構築と相互理解の場をつくる